

# 令和5年度 環境経営レポート

(期間：令和5年4月～令和6年3月)



令和6年5月12日

株式会社 豊福組

## 目 次

1	環境経営方針	・・・	1
2	事業活動の概要	・・・	2
3	エコアクション21実施体制図	・・・	3
4	環境経営目標(事務所)	・・・	4
5	環境経営目標(現場)	・・・	4
6	今年度以降の環境経営目標(事務所)	・・・	5
7	今年度以降の環境経営目標(現場)	・・・	5
8	主要な環境経営計画の内容(事務所)	・・・	6
9	主要な環境経営計画の内容(現場)	・・・	6
10	次年度の主要な環境経営計画の内容(事務所)	・・・	7
11	次年度の主要な環境経営計画の内容(現場)	・・・	7
12	環境経営計画に基づき実施した取組内容 ①	・・・	8
12	環境経営計画に基づき実施した取組内容 ②	・・・	9
13	環境経営目標の実績(事務所)と次年度の取組内容	・・・	10
14	環境経営目標の実績(現場)と次年度の取組内容	・・・	11
15	環境関連法規の遵守状況	・・・	12
16	代表者による全体の取組状況の評価と見直し・ 指示の結果	・・・	13

頁

# 1.環境 経営 方針

株式会社豊福組は、建設工事業を通じて、地球環境に影響を与える環境負荷を継続的に削減し、自然豊かな故郷との調和・共生を目指し、全社一丸となって環境保全への取組を推進し、環境経営の継続的改善に努めます。

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の取組を行う。
  - (1)車両、重機、機械類の排出ガス対策型の使用ならびに省燃費運転を実施し二酸化炭素排出量を削減する。
  - (2)事業所の電気の省エネルギーを推進して二酸化炭素排出量を削減する。
  - (3)事業所において、節水により水使用量を削減する。
  - (4)建設廃棄物の適正処理とリサイクルの推進をする。
  - (5)事務用品及び建設資材等のグリーン調達を推進する。  
又建設資材の可能な限り再生品を使用する。
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
3. 地域社会や建設現場における環境保全活動を積極的に実施して、地域の環境保全に貢献する。
4. 環境経営レポートを作成して公表する等で、環境コミュニケーションを推進する。

制定 平成 21年10月 1日

改訂 平成 31年 4月 2日

株式会社 豊 福 組

代表取締役 豊福 高士

## 2.事業活動の概要

【事業所名】 株式会社 豊 福 組

【代表者氏名】 代表取締役 豊福 高士

【所在地】 本社 〒839-0801  
 福岡県久留米市宮ノ陣6丁目12番40号  
 TEL 0942-33-3067  
 FAX 0942-33-3286  
 E-mail toyofuku@mvc.biglobe.ne.jp

作業場 〒839-0841  
 福岡県久留米市御井旗崎三丁目2番9号

【環境責任者】	環境管理責任者	EA21事務局	豊福 みゆき
	部門担当者	総務部 専務取締役	豊福 朱美
	部門担当者	工事(建築)部	植村 浩二

【事業活動内容】 対象活動 : 土木工事、水道施設工事、舗装工事、とび・土工工事、建築工事、管工事の施工  
 特定建設業 : 土木工事業、水道施設工事業、舗装工事業、とび・土工工事業、建築工事業、解体工事業  
 福岡県知事 許可 (特-21)第20421号 (特-23)第20421号(建築)  
 一般建設業 管工事  
 福岡県知事 許可 (般-24)第20421号  
 産業廃棄物収集運搬業 福岡県知事 : (許可番号)04000153790(許可の年月日)平成27年3月15日  
 (許可の有効年月日)令和6年3月27日  
 ※産業廃棄物収集運搬の業務は、行っていない。

【事業概要】

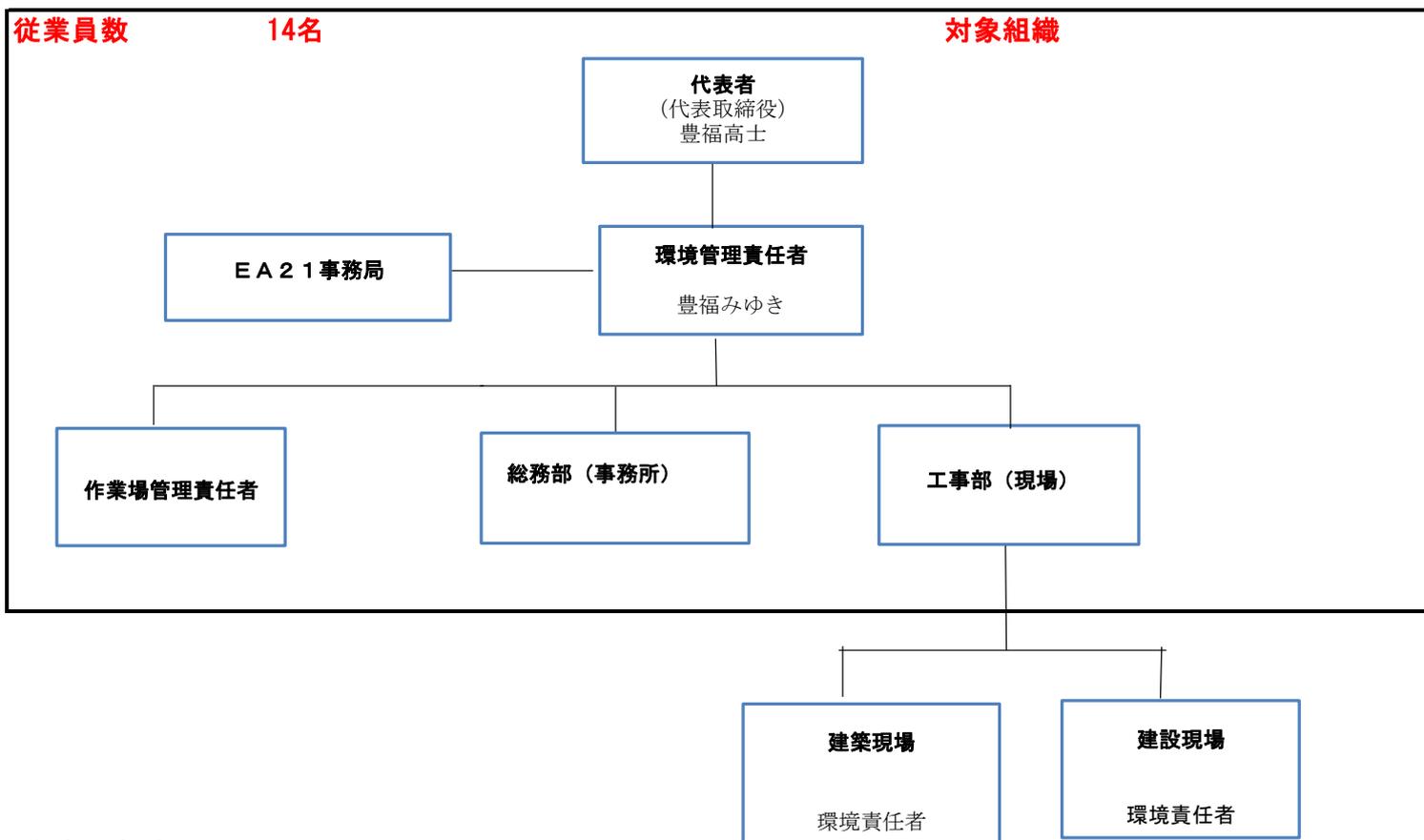
**創業** 昭和16年4月 **設立** 昭和51年4月 **株式会社移行** 平成24年4月  
**資本金** 4,300万円

活動規模	単位	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
売上高	百万円	400	320	240	200	170
従業員	人	16	16	14	14	14
床面積	m2	114	114	114	114	114

【所属団体】 久留米商工会議所、(社)福岡県土木連合会久留米支部  
 久留米三井浮羽土木協同組合、久留米市土木協同組合、久留米建設業協同組合

【認証・登録範囲】 対象範囲 : 全組織  
 事業活動 : 土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業、水道施設工事業、  
 建築工事業、管工事業、解体工事業

### 3. エコアクション21実施体制図



#### 役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	全体統括、環境経営方針の設定、環境経営計画を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し、経営における課題とチャンスの明確化、環境文書の制改定責任者
環境管理責任者	環境管理責任者として、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を代表者に報告する
E A 2 1 事務局	上半期・下半期毎に環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を精査し、E A 2 1 文書及び記録類の作成・維持・管理を行う。
総務部	電力、水消費量の管理、車燃料（ガソリン、軽油）、灯油消費量、廃棄物管理
作業場管理責任者	作業場内の材料、燃料、重機などの管理、整理整頓
工事部（建設現場）	建設現場の燃料（ガソリン、軽油）灯油消費量、廃棄物管理
工事部（建築現場）	電力、水消費量の管理、建築現場の燃料（ガソリン、軽油）灯油消費量、廃棄物管理
全従業員	環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

記録の保存期間は三年とする。

#### 4.環境経営目標(事務所)

環境経営目標		単位	実績 (基準値)	目標 (5%削減)
			平成30年度	令和5年度
1 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub>	10,888.5	10,344.0
	電力	kwh	4,752.0	4,512.0
	燃料	ガソリン	L 3,618.9	4,513.0
		灯油	L 115.0	4,514.0
2. 廃棄物の再資源化・ 適正処理		一般廃棄物 再資源化率	kg 55.0	4,515.0
			% 52.7	57以上
3 水使用量の削減		m3	39.0	37.1
4 グリーン調達の推進		事務用品及び建設資材エコ製品の使用を推進する。 建設資材の可能な限り再生品を使用する。		

・( )内は、H30年度の実績をベースとしての削減率

・電力の二酸化炭素排出係数は2017年度九州電力二酸化炭素調整後排出係数0.463kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した。

#### 5.環境経営目標(現場)

環境経営目	項目		単位	実績 (基準値)	目標 (5%削減)
				平成30年度	令和5年度
1. 二酸化炭素排出量の削減			kg-CO <sub>2</sub>	58,717.1	55,781.1
			kg-CO <sub>2</sub> 百万円①	117.4	111.4
	電力	kwh	1,817	1,726.0	
	燃料	軽油	L 20,419.2	19,398.0	
		ガソリン	L 1,756.1	1,668.3	
		灯油	L 85	81	
2. 廃棄物の再資源化・ 適正処理		産業廃棄物 再資源化率	t 168.3	実行目標	
			% 100.0	95.3	
3. 水使用量の削減			m3 22.0	20.9	
4. 建設業としての地域貢献活動の 進		推	現場周辺の除草、清掃、地域行事への建設機械等を利用したボランティア活動などの取り組みを推進する。		

・( )内は、H30年度の実績をベースとしての削減率

・①kg-CO<sub>2</sub>/売上高(百万円)

・電力の二酸化炭素排出係数は2017年度九州電力二酸化炭素調整後排出係数0.463kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した。

・産業廃棄物の排出量は、工事内容や、施工量により大幅に変動するので、実行目標にした。

## 6.今年度以降の環境経営目標(事務所)

環境経営目標	項目	単位	実績		目標					
			(基準値)	(1%削減)	(2%削減)	(3%削減)	(4%削減)	(5%削減)		
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub>	<b>6039.7</b>	5979.3	5918.9	5858.5	5798.1	5737.7		
	電力	kwh	4096.0	4055.0	4014.1	3973.1	3932.2	3891.2		
	燃料	ガソリン	L	1744.7	1727.3	1709.8	1692.4	1674.9	1657.5	
		灯油	L	40.0	39.6	39.2	38.8	38.4	38.0	
2. 廃棄物の再資源化・適正処理	一般廃棄物	再資源化率	kg	48.0	47.5	47.0	46.6	46.1	45.6	
		%	68.8	69.0以上	70.0以上	71.0以上	72.0以上	73.0以上		
3水使用量の削減		m3	11.8	11.7	11.6	11.4	11.3	11.2		
4グリーン調達の推進	事務用品及び建設資材エコ製品の使用を推進する。 建設資材の可能な限り再生品を使用する。									

( )内は、R5年度の実績をベースとしての削減率

・電力の二酸化炭素排出係数は  
2022年度九州電力  
二酸化炭素調整後排出係数  
0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWhを  
使用した。

## 7.今年度以降の環境経営目標(現場)

環境経営目標	項目	単位	実績		目標					
			(基準値)	(1%削減)	(2%削減)	(3%削減)	(4%削減)	(5%削減)		
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub>	<b>35,369.3</b>	35,015.6	34,661.9	34,308.2	33,954.5	33,600.8		
		kg-CO <sub>2</sub> 百万円①	208.1	206.0	203.9	201.9	199.8	197.7		
	電力	kwh	1,526	1510.74	1495.48	1480.22	1464.96	1449.7		
	燃料	軽油	L	12,000.9	11,880.9	11,760.9	11,640.9	11,520.9	11,400.86	
		ガソリン	L	1,595.7	1,579.7	1,563.8	1,547.8	1,531.9	1,515.9	
2. 廃棄物の再資源化・適正処理	産業廃棄物	再資源化率	t	97.5	実行目標	実行目標	実行目標	実行目標	実行目標	
		%	83.0	84.0以上	85.0以上	86.0以上	87.0以上	88.0以上		
3水使用量の削減		m3	38.0	37.6	37.2	36.9	36.5	36.1		
4. 建設業としての地域貢献活動の推進	現場周辺の除草、清掃、地域行事への建設機械等を利用したボランティア活動などの取り組みを推進する。									

( )内は、R5年度の実績をベースとしての削減率

①kg-CO<sub>2</sub>/売上高(百万円)

・電力の二酸化炭素排出係数は  
2022年度九州電力  
二酸化炭素調整後排出係数  
0.462kg-CO<sub>2</sub>/kWhを  
使用した。

## 8.主要な環境経営計画の内容(事務所)

環境経営目標		環境経営計画(取組内容)
1. 二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	冷房温度27℃設定、暖房温度22℃設定、部屋は、閉切る。 蛍光灯をLEDに換え、昼休み、消灯など無駄な照明をしない。 夜間休日は、コピー、パソコンの主電源を切る。
	灯油使用量の削減	暖房温度低め設定、使用範囲、時間の限定
	ガソリンの使用量の削減	アイドリングストップの推進 低燃費車の購入・低燃費運転の徹底 空気圧・オイル等、日常点検を確実にを行う。 目的地までの走行経路を確認し、最短距離で走行できるようにする。
2. 廃棄物の再資源化・適正処理	一般廃棄物	コピー用紙の両面印刷実施、裏紙利用の徹底 コピーのトナーカートリッジのリサイクル実施 シュレッダーの使用は、責任者のみ行なう。 廃棄物の分別の徹底を行なう。 ファックスは、データ確認後、必要分のみ印刷する。
3. 水使用量の削減	節水活動	節水ステッカーを掲示する。 水道配管の漏水の定期検査の実施
4. グリーン調達の推進		再生資材の使用を推進する。 エコ製品(事務用品)の使用を推進する。

## 9.主要な環境経営計画の内容(現場)

環境経営目標		環境経営計画(取組内容)
1. 二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	夜間休日は、コピー、パソコンの主電源を切る。 昼休み、消灯など無駄な照明をしない。 冷房温度27℃設定、暖房温度22℃設定
	灯油使用量の削減	暖房温度22℃設定、使用範囲、時間の限定
	軽油・ガソリンの使用量の削減	アイドリングのストップ、ステッカー貼付 空気圧・オイル等機械車両の日常整備点検を確実にする。 低燃費車の購入・低燃費運転の徹底 重機及び車両の使用燃料を記録し集計・管理する。 同一現場へは乗り合わせる。 最大積載量厳守 排ガス規制・騒音規制適応機種を使用する。
2. 廃棄物の再資源化・適正処理	産業廃棄物	産業廃棄物のマニフェスト管理を徹底する。 再生資源か処理施設への搬入を促進する。 毎日排出量を集計し、総排出量を管理する。
3. 水使用量の削減	節水活動	現場事務所での雨水・河川用水利用促進 建設機械等を洗車する場合は泥等を落としてから行なう。
4. 建設業としての地域貢献活動の推進		地域での環境活動に積極的に参加する。 現場周辺の除草及び清掃

## 10.次年度の主要な環境経営計画の内容(事務所)

環境経営目標		環境経営計画(取組内容)
1. 二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	冷房温度27℃設定、暖房温度22℃設定、部屋は、閉切る。
		蛍光灯をLEDに換え、昼休み、消灯など無駄な照明をしない。
	灯油使用量の削減	夜間休日は、コピー、パソコンの主電源を切る。
		暖房温度22℃設定、使用範囲、時間の限定
ガソリンの使用量の削減	アイドリングストップの推進	
	低燃費車の購入・低燃費運転の徹底	
	空気圧・オイル等、日常点検を確実にを行う。	
2. 廃棄物の再資源化・適正処理	一般廃棄物	目的地までの走行経路を確認し、最短距離で走行できるようにする。
		コピー用紙の両面印刷実施、裏紙利用の徹底
		コピーのトナーカートリッジのリサイクル実施
		シュレッダーの使用は、責任者のみ行なう。
		廃棄物の分別の徹底を行なう。
3. 水使用量の削減	節水活動	ファックスは、データ確認後、必要分のみ印刷する。
		節水ステッカーを掲示する。
4. グリーン調達の推進		水道配管の漏水の定期検査の実施
		再生資材の使用を推進する。
		エコ製品(事務用品)の使用を推進する。

## 11.次年度の主要な環境経営計画の内容(現場)

環境経営目標		環境経営計画(取組内容)
1. 二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	夜間休日は、コピー、パソコンの主電源を切る。
		昼休み、消灯など無駄な照明をしない。
		冷房温度27℃設定、暖房温度22℃設定
	軽油・ガソリンの使用量の削減	アイドリングのストップ、ステッカー貼付
		空気圧・オイル等機械車両の日常整備点検を確実にする。
		低燃費車の購入・低燃費運転の徹底
		重機及び車両の使用燃料を記録し集計・管理する。
		同一現場へは乗り合わせる。
2. 廃棄物の再資源化・適正処理	産業廃棄物	最大積載量厳守
		排ガス規制・騒音規制適応機種を使用する。
		産業廃棄物のマニフェスト管理を徹底する。
3. 水使用量の削減	節水活動	再生資源化処理施設への搬入を促進する。
		毎日排出量を集計し、総排出量を管理する。
4. 建設業としての地域貢献活動の推進		現場事務所での雨水・河川用水利用促進
		建設機械等を洗車する場合は泥等を落としてから行なう。
		地域での環境活動に積極的に参加する。
		現場周辺の除草及び清掃

## 12. 環境経営計画に基づき実施した取組内容 ①

蛍光灯をLED に換える

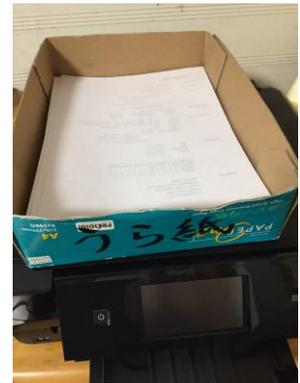
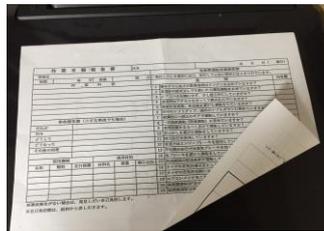


節水ステッカーを掲示する



コピー用紙の裏紙利用

(作業日報報告書)



同一現場へは乗り合わせる



低燃費車の購入の推進



(6人乗り)

## 12. 環境経営計画に基づき実施した取組内容 ② (地域貢献)

### ・除草作業(事務所周辺)



### ・久留米市土木協同組合による浚渫作業(宮ノ陣地区排水路)



### ・五郎丸地区 『さぎっちょ』(正月の恒例行事) 準備・あとかたづけ



### ・地域の廃品回収への参加

### 13.環境経営目標の実績(事務所)と次年度を取組内容

エコアクション21を運用した令和5年4月～令和6年3月における目標に対する実績(事務所)は、次の通りであった。

(事務所)

環境経営目標	項目	単位	本年度 目標	本年度 実績	削減率 (%)	目標達成の 判定	
			令和5年度	令和5年度			
1 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub>	(5%削減) 10,344.0	6,043.8	41.6	○	
	電力	kwh	4,512.0	4,096.0	9.2	○	
	燃料	ガソリン	L	3,437.0	1,744.7	49.2	○
		灯油	L	109.3	40.0	63.4	○
2. 廃棄物の再資源化・適正処理	一般廃棄物 再資源化率	kg	52.3	48.0 (達成率)		○	
		%	57以上	68.8	120.7		
3 水使用量の削減		m3	37.1	11.8	68.2	○	
4 グリーン調達の推進	事務用品はエコ製品の使用を推進する。 建設資材の可能な限り再生品を使用する。					○	

・( )内は、H30年度の実績をベースとしての削減率。

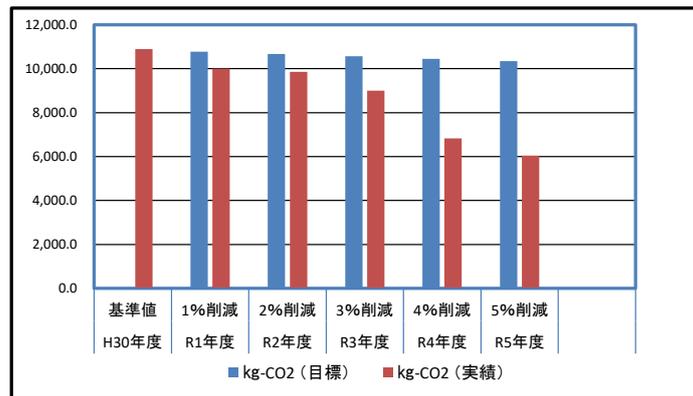
・目標の削減率は目標値に対する削減率を示す。

・再資源化率の評価は達成率とする

二酸化炭素排出量の削減

環境経営目標	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
1 二酸化炭素排出量の削減		基準値	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減
	kg-CO <sub>2</sub>	(目標)	10,779.6	10,670.7	10,561.8	10,452.9	10,344.0
		(実績)	10,888.5	10,005.3	9,860.6	8,995.6	6,831.9

二酸化炭素排出量の削減



1. 使用燃料の減少により、二酸化炭素排出量も大幅に削減できた。
2. コピー用紙はなるべく裏紙を日報などに利用し、それ以外は資源ゴミに出すなどして排出量を減らすようにした。
3. 水の使用も節水を心がけ、使用量を削減できた。

#### 次年度を取組内容

二酸化炭素排出量の削減に向け、エアコンの設定温度の管理や、低燃費運転、無駄のない走行経路の運転に心がけるようにする。

# 14. 環境経営目標の実績(現場)と次年度を取組内容

エコアクション21を運用した令和5年4月～令和6年3月における目標に対する実績(現場)は、次の通りであった。

(現場)

環境経営目標	項目	単位	本年度 目標 令和5年度	本年度 実績 令和5年度	削減率 (%)	目標達成の 判定	
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>		(5%削減) 55,781.1	35,370.9	36.6	○	
		売上高(百万円)	111.4	208.1	▲ 86.8	×	
	電力		kwh	1,726.0	1,526.0	11.6	○
	燃料	軽油	L	19,398.0	12,000.9	38.1	○
		ガソリン	L	1,668.3	1,595.7	4.4	○
		灯油	L	81	0		○
2. 廃棄物の再資源化・適正処理	産業廃棄物 再資源化率	t	実行目標	97.5	(達成率)	×	
		%	95.3	83.0	87.1	×	
3. 水使用量の削減		m3	20.9	38.0	▲ 81.8	×	
4. 建設業としての地域貢献活動の推進	現場周辺の除草、清掃、地域行事への建設機械等を利用したボランティア活動などの取り組みを推進する。					○	

・(○)内は、H30年度の実績をベースとしての削減率。

R5年度売上高は(170百万円)

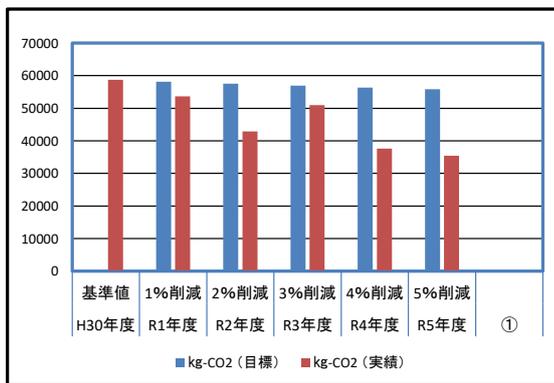
・目標の削減率は目標値に対する削減率を示す。

・再資源化率の評価は達成率とする

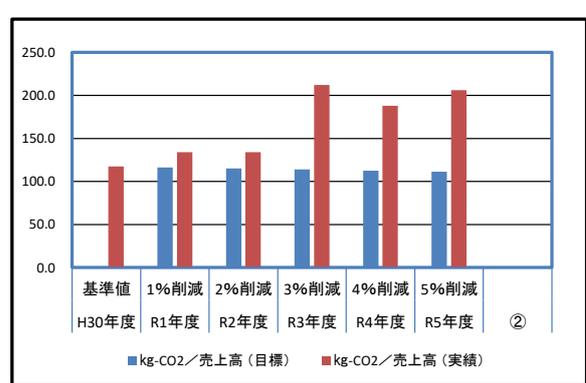
## 二酸化炭素排出量の削減

環境経営目標		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
1 二酸化炭素排出量の削減	単位	基準値	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	①	
	kg-CO <sub>2</sub>	(目標)		58,129.9	57,542.7	56,955.5	56,368.3		55,781.1
		(実績)	58,717.1	53,653.8	42,924.7	50,900.3	37,591.2		35,370.9
	単位	基準値	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	②	
	kg-CO <sub>2</sub> /売上高	(目標)		116.2	115.0	113.8	112.6		111.4
		(実績)	117.4	134.1	134.1	212.1	188.0		206.1

二酸化炭素排出量の削減①



二酸化炭素排出量の削減②



1. 二酸化炭素排出量の削減は、目標を達成できたが売上高が減少したため、原単位での目標は達成できなかった。
2. 産業廃棄物は、適正に処理がなされている。
3. 水の使用も節水を心がけてはいたが、現場等での利用で目標は達成できなかった。
4. 地域貢献活動は、例年通りに行事が復活し、積極的に活動に取り組んだ。

### 次年度を取組内容

工事の内容、工程を把握し、乗り合わせ、低燃費運転、重機の定期的点検を行い使用燃料の削減に心がけるよう周知、徹底する。

# 15. 環境関連法規の遵守状況

## 環境関連法規の遵守状況の確認結果表

法律名	要求事項	適・否
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	建設業等を営む者の責務	適
	発注者の責務	適
	分別解体等実施義務	適
	分別解体の基準	適
	対象建設工事の届出等	適
	対象建設工事の届出に関わる事項の説明	適
	請負契約書面の記載事項	適
	再資源化等実施義務	適
	発注者への報告等	適
	解体工事業者の登録	適
	加工技術の確保	当該作業無し
	技術管理者の設置	当該作業無し
	標識の提示	当該作業無し
	帳簿の備付	当該作業無し
	下請け人に対する元請業者の指導	適
資源有効利用促進法	再資源の発生した工事現場での利用	適
	再資源利用計画の作成等	適
	指定副産物に係る再生資源の利用の促進の原則	適
	再生資源利用促進計画の作成等	適
廃棄物処理法(一般廃棄物委託処理)	委託	適
	委託基準	適
廃棄物処理法(産業廃棄物委託処理)	保管基準の遵守	適
	産業廃棄物の保管	適
	保管の届出	該当無し
	許可業者への委託	適
	委託基準の遵守	適
	管理票(マニフェスト票)の交付	適
	管理票(マニフェスト票)の写しの保存期間	適
	管理票(マニフェスト票)に関する知事への定期報告	適
	管理票(マニフェスト票)の写しの送付を受けるまでの期間	適
	投棄の禁止	適
	焼却禁止	適
	報告の徴収	適
水銀使用製品産業廃棄物であることの情報の伝達・処理基準の追加	該当無し	
騒音規制法(特定建設作業)	特定建設作業の実施の届出	当該作業無し
	規制基準の遵守義務	適
	改善勧告及び改善命令	当該作業無し
振動規制法(特定建設作業)	特定建設作業の実施の届出	当該作業無し
	改善勧告及び改善命令	当該作業無し
	規制基準の遵守義務	適
	報告及び検査	当該作業無し
オフロード法	使用の制限	適
	適用除外	該当無し
	特定特殊自動車を業として使用する者が守るべき指針	適
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	該当無し
家電リサイクル法	テレビ・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの廃棄	該当無し
自動車リサイクル法	自動車の所有者の責務・自動車の廃棄・使用済み自動車の引渡し義務	適
大気汚染防止法	作業基準の遵守	当該作業無し
	解体工事に係る有資格者による事前調査及び調査結果の報告	当該作業無し
	特定粉じん排出等作業の実施の届け出	当該作業無し
労働安全衛生法/石綿障害予防規則	石綿、石綿含有保温材等の除去、封じ込め、囲い込みの措置	当該作業無し
	労働者に呼吸用保護具、作業衣、保護衣を使用させる	当該作業無し

以上の通り、当事業所に適用される環境関連法規に関し、確認した結果、違反は、ありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 16. 代表者による全体の取り組み状況の評価と見直し・指示の結果

### 評価

- ・ 令和5年度も、災害復旧工事の後、公共工事の発注が減少し売上高が減少した。
- ・ 従業員の高齢化、体調不良により従業員数が減ったため、今年度より技能実習生を新たに採用した。エコアクション21の取組みも少しずつ理解して実行している。
- ・ 二酸化炭素排出量の5%削減の目標は達成できたが原単位では目標を達成できなかった。

### 見直し及び改善点

- ・ 引き続き、断熱リフォーム（ハウスINハウス）の事業をモデルルームの内覧や広告等でアピールし、受注件数を増やすようにする。
- ・ 今年度以降の中期目標は令和5年度の実績を元に1年毎に1%削減の目標を立てた。
- ・ 環境経営方針、環境経営計画、実施体制については変更はせずに、次年度もこのまま継続し運用する。



ロゴ：国連広報センター作成